

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
社会の理解 I Understanding Society I		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(介護福祉士養成課程 必修)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
介護福祉士養成課程必修科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
久保 由佳	福祉棟 2階	月～金 (授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
個人・家族・地域・社会とのつながりやかかわりを知り、自分自身の存在を見つめる。また、サービス利用主体の生活や社会背景を理解し、サービス利用にかかわる主な法制度体系について学ぶ。特に、この「社会の理解 I」では、私たちの生活を支えている社会保障制度や介護保険制度などの社会福祉に関連する法制度の概要や動向を学習する。				
授業の目標				
①現代社会の現状と特徴を捉えることができるようにする。 ②個人・家族・地域・社会とのつながり、集団や組織とのかかわりを確認できるようにする。 ③生活の場としての地域という観点から、地域共生社会や地域包括ケアシステムの基本的な考え方としくみ、制度や施策を説明できるようにする。 ④社会保障制度の構成を捉え、その役割や意義、しくみについて説明できるようにする。 ⑤介護保険制度の創設の目的としくみを説明できるようにする。				
授業の方法				
講義科目であるが、演習、個人またはグループワーク、ディスカッションなどを取り入れる。				
学習の成果（学習成果）				
①生活と社会の関係性を確認できる。 ②地域社会における生活とその支援について、基本となる知識を身につけることができる。 ③介護実践に必要な社会保障制度と介護保険制度のしくみについて説明できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（授業のねらいと進め方・成績評価の方法・欠席時の対応・諸注意など） 私たちの生活と社会福祉① 生活の構造			
第2回目	私たちの生活と社会福祉② 家族とは、地域社会と個人、人と社会・組織			
第3回目	私たちの生活と社会福祉③ 現代におけるライフスタイルの変化、生活の支援と福祉の体系			
第4回目	地域福祉の理念とシステム（地域の発展、地域共生社会、地域包括ケア）			
第5回目	社会保障のしくみ① 社会保障のしくみ、現在の社会保障制度の体系			
第6回目	社会保障のしくみ② 医療保険制度			

第7回目	社会保障のしくみ③ 後期高齢者医療制度	
第8回目	社会保障のしくみ④ 国民年金制度	
第9回目	社会保障のしくみ⑤ 被用者年金	
第10回目	社会保障のしくみ⑥ 労働者関連の社会保険	
第11回目	介護保険制度① 介護保険制度創設の目的 *小テスト① (社会保障制度)	
第12回目	介護保険制度② 保険者と被保険者	
第13回目	介護保険制度③ サービスの申請、利用者負担、保険給付の対象者	
第14回目	介護保険制度④ 介護保険給付の種類、サービスの内容	
第15回目	介護保険制度のまとめ *小テスト② (介護保険制度)	
事前・事後学習	日頃から高齢者福祉や障害者福祉、私たちの身近な制度等に目を向けること。 授業でわからなかった点は、各自調べたり、教員に質問したりすること。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	S評価は、①授業で使用する教材を準備している。②授業に集中し、必要なことはノートにとっている。③積極的に取り組んでいる。④グループワーク時は他学生の意見を聞いた上で、自分の考えを述べている。
レポート		
調査報告書		
小テスト	20%	社会保障制度と介護保険制度に関する小テストを行う。(第11回、第15回) 介護福祉士国家試験に準じた形式で出題する。
試験	60%	介護福祉士国家試験に準じた内容を出題する。
発表内容 (態度含む)		
その他		
教科書と参考図書		
最新・介護福祉士養成講座 第2巻「社会の理解」 中央法規出版 福祉小六法 その他、必要に応じて資料を配布する。		
履修上の留意点・ルール		
●実務経験 (職種：介護福祉士、職歴：通算6年) 目的意識をもち、積極的に取り組むこと。飲食物や携帯電話等、教材以外のものは机上に置かない。やむを得ず欠席した場合は、速やかに届け出を提出すること。		